開会のことば・議長

北海道議会議員
千葉英也
全国大会実行委員会委員長

本日は、全国道路利用者会議第72回全国大会に古賀会長をはじめ、全国から多数の会員の皆様にご参加の元、佐々木道路局次長、橋本北海道局長、高速道路会社役員の皆様、また地元北海道の鈴木知事、秋元札幌市長、小畑北海道議会議長、さらに多くの国会議員のほか、多数の来賓の皆様にご臨席を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、道路は国民生活や社会経済活動を支える最も重要なインフラであります が、高規格道路におけるミッシングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害や通学路における交通事故、道路施設の老朽化など様々な課題を抱えております。

特に北海道においては、日本海溝・千島海溝沿いにおける巨大地震が切迫していることから、災害に強い国土幹線ネットワークの整備も必要となっております。

北海道道路利用者会議といたしましては、これらの課題の解決を図るため、高規格道路から生活道路に至る道路網の整備を推進するため、必要な予算の確保に向け、全力で取り組んでまいる所存でございます。本日、お集まりの皆様におかれましても今後とも一層のご理解・ご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

本大会終了後には、道路視察を予定しております。参加される皆様には、北海道の道路整備状況をご覧いただき、民族共生象徴空間「ウポポイ」において、北海道固有のアイヌ文化に触れるとともに、道内のそれぞれの地域が持つ魅力を感じていただければ幸いです。

来賓挨拶

国土交通大臣代理
国土交通省道路局次長
佐々木正士郎

現在、我が国は、激甚化・頻発化する自然災害、さらには長期化する新型コロナウイルス感染症によって影響を受けた社会経済や国民生活への対応など、多くの課題に直面しております。

そのような中、トラック、バス、タクシー等の業界の皆様をはじめ、エッセンシャルワーカーとして、人流・物流を支え、社会経済、国民生活をお支えいただいている全ての関係の皆様に、まずもって心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

古賀会長をはじめ、全国からお集まりの皆様には、日頃より道路行政に対するご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日、ここ札幌市において、「全国道路利用者会議第72回全国大会」が開催されますことを心からお祝いし、一言ご挨拶を申し上げます。

8月には北海道地方でも記録的な大雨がありましたが、今年も豪雨や台風により、各地で甚大な被害が発生しております。国土交通省といたしましては、引き続き、東日本大震災や、近年、激甚化・頻発化する大規模自然災害からの復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

あわせて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づいて、ハード・ソフトの施策を総動員することによって、防災・減災、国土強靱化の取組みを着実に進めてまいります。

また、世界一安全、スマートで持続可能な道路交通システムの構築に向け、防災・減災、国土強靱化の取組みに加えて、人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備、老朽化対策や、道路分野におけるDX、GXの取組をしっかりと進めてまいります。

日常的に道路を利用される方々の声も大事にして、利用者目線に立った局所的な渋滞対策や休憩施設の機能強化に引き続き着実に取り組むとともに、自動車運送事業者を対象とした大口・多頻度割引の拡充措置、省人化のためのダブル連結トラックの利用促進、特殊車両通行確認システムの利用拡大など、道路を利用して日本を支える皆様が活動しやすい環境の確保に努めてまいります。

道路整備に関する課題は山積しておりますが、国土交通省といたしましては、本日ここにお集まりの皆様の幅広いご意見を賜りながら、必要な道路の整備、機能の向上を着実に推進して参りますので、なお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

来賓挨拶

北海道知事
鈴木直道

本日、全国道路利用者会議第72回全国大会が北海道において開催されますことをお慶びを申し上げます。また古賀会長をはじめとする会員の皆様、佐々木道路局次長をはじめとする来賓の皆様のご来道を、心から歓迎申し上げます。

平成30年9月に発生をいたしました北海道胆振東部地震の復旧・復興にあたっては、国会議員や国土交通省の皆様をはじめ、多くの方々から温かいご支援を賜り、この場をお借りして厚く皆様に御礼申し上げます。

道路は、社会基盤の根幹となる施設であります。とりわけ北海道は、都市間距離が全国平均の2倍から3倍という広域分散型の地域構造にありますことから、高規格道路をはじめとする道路ネットワークは、経済活動はもとより、救急搬送や災害時の緊急輸送など、安全で安心な暮らしの確保に不可欠な命の道となっております。

本道の道路整備は、着実に進められているものの、未だに主要都市間を結ぶ高規格道路のミッシングリンクが解消しておらず、全国に比べて、整備が後れております。

本年8月の記録的な大雨では、幹線道路の通行止めや河川の氾濫など、様々な被害が発生をし、道民の皆様の暮らしや経済活動に大きな影響があったところでございます。

また、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の懸念もあり、災害に強い強靭な北海道づくりは大変重要であると考えております。

さらには、不安定な国際情勢を背景に、我々の生活に欠かせない食の安定供給への不安が広がる中、食料自給率200%を越す本道が、我が国の食料安全保障に、より一層貢献をしていくためにも、物流を支える道路網の整備がますます重要となります。

北海道としては、道路ネットワークの構築はもとより、道路施設の老朽化対策や交通安全対策をしっかりとを進めるために、必要な予算の確保に向けて取り組んで参りますので、引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

来賓挨拶

鈴木宗男
参議院議員

来賓挨拶

秋元克広
札幌市長

全国道路利用者会議第72回全国大会が、2年ぶりにここ札幌で盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げますとともに、全国から札幌にお越しいただいた皆様を、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

古賀誠会長をはじめ、全国道路利用者会議の皆様、お集まりの関係者の皆様におかれましては、日頃より道路の整備促進や、道路利用者の安全と利便性の向上に関する事業などを通じて、人々の生活を支えておられますことに深く敬意を表する次第でございます。また、北海道胆振東部地震の際、また、昨冬の記録的な大雪の際には、北海道開発局の皆様をはじめ、多くの方々にご支援いただきましたこと、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

今年ももうすぐ冬の季節が到来をいたしますが、安全・安心な冬の道路環境の実現に向け、状況に即した排雪作業の徹底や、雪堆積場の増強など、様々な取り組みを進めてまいりますので、皆様には引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本市は今年、市制施行から100年、札幌冬季オリンピックの開催と政令指定都市への移行から50年という大きな節目を迎えたところであります。振り返りますと、札幌の街は、1972年の冬季オリンピックの開催により、道路や地下鉄をはじめとする様々な交通網が整備をされ、利便性が格段に向上いたしました。それから50年が経過し、現在は一斉に更新の時期を迎えているところでございます。

そのため本市では老朽化したインフラへの対応はもちろんのこと、2030年度末に北海道新幹線が、札幌に延伸されることを見据えて、国道5号創成川通における都心アクセス道路の整理や、新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの高機能化を目指す「札幌駅交通ターミナル」の事業計画の検討を進めるなど、交通基盤の再整備を実施しているところであります。この魅力的な札幌の街を次の世代に持続可能な形で繋げていくため、こうした取り組みを通じ、引き続き安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

本大会は、道路行政に携わる多くの皆様と国民生活の安定や進展への思いを共有出来る大変有意義な場であります。昨今、様々な要因により資材価格が高騰しておりますが、こうした中であっても国民の生活を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化に係る予算や、道路整備・管理を安定的に進めるための道路予算の総額確保が重要であると考えております。この度の貴重な機会を活かし、国への要望決議等含めて、皆様と心を一つにして参りたいと思います。

決議

次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現すること。

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

一、災害への備え及び観光等の経済活動復興のため、人流・物流の活性化に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消、四車線化等とダブルネットワークの構築

一、重要物流道路の整備推進によるネットワークの強化

一、トラック、バス、タクシー等の利用者目線での渋滞対策の推進、交通ターミナルや休憩施設の機能強化及び公共交通の維持・支援

一、高速道路料金について、利用に応じた料金制度としつつ、事業者向け割引の継続

一、子供達の安全・安心を守るため、通学路等の交通安全対策の強化・推進と必要な予算の継続的な確保

これらの項目を踏まえ、資材価格が高騰する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和五年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること。

また、地域経済を支えるため、公共事業を含む補正予算を速やかに編成すること。

令和四年十月二十日

全国道路利用者会議
第七十二回全国大会

役員の一部改選

〔新選出理事〕
群馬県・熊川　栄
千葉県・池田和彦
千葉県・伊藤友則
山梨県・堀内富久
山梨県・舩木直美
富山県・武隈義一
愛知県名古屋市・田中里佳
滋賀県・甲斐切　稔
滋賀県・田畑太郎
奈良県・森島和洋
岡山県・永山久仁彦
徳島県・藤井正助
香川県・大山一郎
香川県・佐伯明浩
福岡県・遠田孝一
宮崎県・佐藤　貢
横浜市・手塚文雄
特別会員・石井敏行
本部・丸山　荘
〔新承認副会長〕
本部・丸山　荘
四国地区（香川県）・大山一郎
〔新指名常任理事〕
群馬県・茂原荘一
千葉県・池田和彦
山梨県・堀内富久
富山県・武隈義一
滋賀県・甲斐切　稔
奈良県・森島和洋
徳島県・藤井正助
横浜市・手塚文雄
特別会員・石井敏行
〈敬称略〉